

2024 年度福岡ブロックアワードエントリーシート

LOM 名	一般社団法人福岡青年会議所	
事業名	JCI 福岡 70 周年記念事業 Thanks for FUKUOKA 2023	
事業担当者	田原義也	
事業担当者連絡先	Tel:080-5799-0448	Mail:th.448@icloud.com
実施に至った背景	<p>1953 年の設立以来、福岡青年会議所は地域の方々や行政をはじめする各団体と手を携えてまちづくりを行ってきました。これまで地域の発展のために汗をかき、率先して社会により良い変化をもたらすべく活動を続けることができたのは、地域の方々の支援や協力を頂いてきたからに他なりません。現在も福岡青年会議所出身のシニアメンバーの方々、そして、行政や団体などの関係各所や地域の皆様の協力に支えられながら私達の活動は成り立っています。</p> <p>これまで先輩方が培ってきた地域との関係性や信頼、福岡青年会議所としての実績や伝統に感謝し、70 周年という節目を活用し、これまで支えていただいた地域や関係各所へ『感謝』を伝えていく必要があります。</p>	
事業の目的	<p>【対外の事業目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.地域と共に地域が抱えている社会課題の解決のきっかけを作ることで、まちに感謝を伝えること。 2.地域の方々や行政機関・外部団体との関係性をより強固なものにしていくこと。 <p>【対内の事業目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.70 周年の意義を実感できる機会にすること 2.「0(ゼロ)周年」の在り方を考える機会にすること 3.80 周年を担う次世代の人財を輩出すること 4.LOM が一丸となり運動・活動・事業を行える体制を構築すること 	
事業の概要	<p>日中は、多くの子どもやその親達に参加できる「昔懐かしの縁日」を中央区の各小学校 PTA 協議会と協力して開催し、地域の子供たちが大勢集まり楽しく遊ぶ空間を作り出した。会場には、フードコートや竹あかりアートを設え、非日常の雰囲気</p>	

	<p>を味わってもらう一方で、遊べるエリアまわりの巡回体制を構築し、親が安心して子供たちを連れてこれる環境を整備した。</p> <p>そして、夜間は、子供たちが日本最大級となる 1500 個の LED スカイランタンに身近な人への感謝の気持ちを書いた短冊を載せて、一斉に福岡の夜空に放ちます。</p> <p>また、この 70 周年記念事業は、次の 80 周年に向けた次世代の人材輩出と、周年を機に LOM が一丸となって事業を行える体制を構築することが目的であり、中央区の各小学校 PTA 協議会や行政などと連携を強め、「昔懐かしの縁日」の実施やスカイランタンの事前事後の対応等において、地域と一緒にあった体制づくりを行います。</p>		
<p>広報戦略</p>	<p>【イベント前の広報】</p> <p>①事業告知ビジュアルの作成（チラシ 2000 枚）：各小学校等に配布</p> <p>②各種メディアへの情報掲載依頼（RKB テレビ・RKB ラジオ・KBC テレビ等）：全市民向け</p> <p>③インスタグラマーによるイベント告知：全市民向け</p> <p>④福岡 JC の HP への掲載、</p> <p>【イベント後の広報／ブランディング発信】</p> <p>①RKB テレビ開催模様の報道：全市民向け</p>		
<p>実施による工夫</p>	<p>中央区の小中学校 PTA 協議会と連携し、子供を取り巻く地域コミュニティを活性化させる事業を市民と協働して行うことで、福岡 JC のブランディングを高めると同時に今後の福岡 JC の事業に対する認知度、参加率、協力体制を作っていける土壌を作る工夫を行った。</p>		
<p>事業の参加者</p>	<p>会員数</p>	<p>228 名</p>	<p>参加率 78%</p>
	<p>対外目標</p>	<p>10000 名</p>	<p>達成率 135%</p>
<p>事業対象者</p>	<p>【対外】</p> <p>①福岡市中央区の各小学校生徒とその親 4240 名（目標値）</p> <p>②JCI 福岡市にメンバーとその家族 480 名（目標値）</p> <p>③一般の来場者 4733 名（目標値）</p> <p>【対内】</p>		

	<p>①JCI 福岡正会員 292 名</p> <p>②JCI 福岡の家族 329 名 (目標値)</p>
開催期間日時	<p>2023 年月 6 月 10 日(土) 11:00~21:00</p> <p>2023 年月 6 月 11 日(日) 11:00~16:00</p>
開催場所	<p>舞鶴公園・三の丸広場 特設会場</p> <p>(福岡市中央区同城内 1-4)</p>
事業区分	<p><input checked="" type="checkbox"/>新規 <input type="checkbox"/>継続</p>
結果	<p>1. 事業 2 日間で約 13,500 名という多くの方に来場していただき、周年にふさわしい規模間の事業となった。中央区 PTA 協議会の方々には小学生の子供を持つ同世代の親ということもあり、地域への課題認識や考え方を共有することができ、当日まで一緒に活動をすることで一体感を高めることができた。また、スカイランタンへの短冊に身近な人への感謝を書くことにより、福岡の夜空いっぱいに感謝の気持ちを投影できた。</p> <p>2. アンケートの実施 (①スカイランタン打ち上げ応募者、②PTA 関係者等)</p> <p>3. ①福岡 JC から街への感謝を感じたか 87.7% (221 名/252 名)</p> <p>②福岡 JC との一体感を得られたか 100% (7 団体/7 団体)</p>
LOM や地域社会への影響	<p>中央区 PTA 協議会から来年以降の開催方法のヒアリングがあり、近年、見られなくなった地域の祭りについて、今後も各小学校との連携や関係性を維持しつつ、次年度以降も行っていきたいという意見をいただいた。同程度の規模のイベントが毎年開催できるかについては、様々な課題があると思われるが、今後行う場合においての関係性の構築や体制の確認等を行うことができ、そのきっかけを福岡 JC が作ることができた。</p>
事業の長期的な影響	<p>今回の事業の参加者として主眼においたのは小学生であり、特に中央区の小学校からは多くの生徒が参加していました。将来の街の未来を担う小学生に対し、福岡 JC の存在感を示せたことは重要な意味があると考えている。また、福岡 JC のみがイベントを開催するのではなく、他の団体である中央区の PTA 協議会と協働でイベントを実施したことにより、市民自身の手でイベントを開催することの意義や開催するための青年会議所らしい道標を示すことができ、青年会議所のマインドを街</p>

	<p>に還元して、その想いを次の世代に繋いでいくことができた。</p>
<p>考察や推奨</p>	<p>本事業は、福岡 JC70 周年事業として行われ、これまでの歴史を未来に紡いでいく中で、街に感謝の気持ちを伝えるというコンセプトの元、小学生をターゲットとしてイベントを開催した。当日参加した小学生やその親も、近年大きな祭りが少なくなってきた、子供たちが笑顔で楽しめるイベントが少なくなっているとの地域の課題を自分たちでなく市民の手により、解決する過程で得られた関係性こそが、この事業の最大の成果だと考えている。奉仕・修練・友情の青年会議所のマインドを市民に広げていくことこそが青年会議所のブランディングを高める最良の方法ではないかと考える。</p>

事業風景(写真)



